

お知らせ

参加募集

★『人・生きものにぎわう農村フォーラム』2011』とき：

2011年11月12日(土)
13:00から16:45

ところ：

近江八幡市鷹飼町の県立男女共同参画センター(G-NETしが)大ホール

基調講演：
鹿児島県柳谷公民館館長 豊重 哲郎氏
村おこしのヒントが見つかるかも！

ミニコンサート：
びわ湖カンパニー代表 川本 勇氏
「地産地消ソング」を熱唱！

★「にぎわう農村フォトコンテスト」参加作品を募集しています。詳しくは、協議会のHPに掲載していますので、是非ご覧下さい。

編集後記

★先の女子サッカーワールドカップでは「なでしこジャパン」の見事な優勝に感動しました。

先行されて、残り時間がわずかな中での2度にわたる同点劇。最後のPK戦では「見えない力が日本を後押ししていたのを感じた」と相手選手の談話が紹介されました。相手国からも賞賛の声が上がる、決して焦ることなく最後まであきらめない姿勢は、今の日本に勇気と希望を与えてくれたと思います。(A.W)

わたしたちもがんばっています！ パート2

～念願の実現～

愛耕之郷小堤 代表 森 利次(野洲市)

私の集落は、水田面積32ha、会員数67名、耕作者は24戸と県内の平均的な集落です。

また、集落は国道8号線で「山田」と「裏田」に二分されており、昔から「山田」に3つのため池があり、生活、農業用水として利用しています。

その池の一つの新池は、年間を通して水温19度と冷水なので泳いだ事はありませんが、子どもの頃から、ここでアマゴやイワナなどが飼育出来ないものだろうかと考えていました。

このように水に恵まれているため、水稻の10a当たり水利費は2,000円と、県下で最も安価な水準ではないかと思っています。

また、「山田」の排水をポンプアップし、「裏田」の用水として反復利用をしています。

このような中、平成19年度から当事業に取り組み、泥水を落とさない、流さない、水を無駄にしない、農地の景観をよくすることなどを考慮しながら、資源の保全・有効活用を図っています。

例えば、新池と排水路の水位差が5mあ

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

農村まるごと

検索

★2010にぎわう農村フォトコンテスト入選作品★



「早く食べたいよ！」
中川 武司さん(長浜市)



「君も触ってみ！」
西村 良行さん(野洲市)



「初めての田植え」
野口 直義さん(日野町)

まるごとだより 第19号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



目次

☆魚のゆりかご水田は、今年も子どもたちの感動と歓声に包まれました！

☆「農村まるごと」に関する国の事業名が変わりました。

☆わたしたちもがんばっています！パート1
「正福寺ふるさとを守り育てる会」(湖南市)

☆豊郷町は豊かな自然を守ります！(豊郷町)

☆わたしたちもがんばっています！パート2
「愛耕之郷小堤」(野洲市)

発行 (2011.9)

滋賀県世代をつなぐ農村
まるごと保全地域協議会

T 521-1224
東近江市林町601番地
水土里ネット滋賀内
電話 0748-42-4806
FAX 0748-42-5574
Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

魚のゆりかご水田は、今年も子どもたちの感動と歓声に包まれました！

世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の一環で取り組んでいただいている「魚のゆりかご水田」は、平成22年度末現在で115haの地域に拡大しました。

各地で魚の観察会や田んぼで育った稚魚の放流などの活動を実施し、地域の子どもたちを含む多くの人々が参加しました。



魚のゆりかご水田に取り組んだ地域



●長沢環境保全の会(米原市長沢)では約4haが取り組まれ、当地区は、水路に生息する魚の種類が豊富なため、田んぼには多くの魚が上ってきて、様々な稚魚が観察できました。



●魚のゆりかご水田協議会(東近江市栗見出在家)では、6月19日(日)に『魚のゆりかご水田学習会in栗見出在家』を開催され、多くの参加者のもと、田んぼや水路で生まれた稚魚を捕まえたり、魚に関するクイズなどを通じて取組に対する理解を深めました。



「農村まるごと」に関する国の事業名が変わりました。

今年度、「農村まるごと」の国の事業名が、『農地・水・環境保全向上対策』から共同活動は、『農地・水保全管理支払交付金』に、営農活動は、『環境保全型農業直接支援対策』にそれぞれ変わりましたので、書類提出の際にはご注意願います。新しい様式をホームページに掲載していますので、ご利用下さい。参考に共同活動の例を掲載します。

(参考様式第7号) 変更前

第 年 月 日 活動組織名
代 表 印

農地・水・環境保全向上対策(共同活動支援交付金)に係る
体制整備構想承認申請書

体制整備構想を取りまとめたので、農地・水・環境保全向上対策実施要領(平成19年3月30日付け18農振第1778号生産局長、農村振興局長通知)の第4の3の(3)に基づき、下記関係書類を添えて申請する。
記

1. 農地・水・環境保全向上対策(共同活動支援交付金)に係る体制整備構想 別紙

(参考様式第7号) 変更後

第 年 月 日 活動組織名
代 表 印

農地・水保全管理支払交付金(共同活動支援交付金)に係る
体制整備構想承認申請書

体制整備構想を取りまとめたので、農地・水保全管理支払交付金実施要領(平成23年4月1日付け22農振第2262号農村振興局長通知)の第4の3の(3)に基づき、下記関係書類を添えて申請する。
記

1. 農地・水保全管理支払交付金(共同活動支援交付金)に係る体制整備構想 別紙

従前の事業名による様式

わたしたちもがんばっています！ パート1

正福寺ふるさとを守り育てる会

代表 中村 武治（湖南市）

わが町正福寺は、湖南市の中央を流れる野洲川右岸に位置する集落です。戸数は、160余りですが、その内、農家は、50戸余りで、兼業化が進んでいます。

わが町では、「まるごと」に取り組む以前から、この活動の基本である地域住民を巻き込んだ活動として、集落及び、各種団体（老人クラブ、ふじん会等）が中心となって、水路の清掃、道路の清掃（農道含む）等に取り組んできましたが、「まるごと」の活動に取り組んでからは、より一層住民の環境に対する意識付けが出来た感じています。

最初は、この組織構成団体の役員などが主体となり、なんとか前向きに頑張って行こうという思いで取り組んできました。2年目に入り地域住民全体の意識啓発を図るために、小中学生から標語を募

集し、優良作品を看板にして、公民館や各組集会所に設置し広報につとめました。

そんな中、田んぼの排水路にホタルが生息するのが見受けられました。下水道の整備や「まるごと」の活動により、まさに水環境が良くなつて来たためだと思われます。今まで自然環境に余り関心がなかった人達も興味を持つようになり、田んぼや水路の畦の草刈



りにおいても、ホタルの生息に配慮した草の刈り方（水路から上方1.5m位残す。）をする様になりました。

今年は、老人クラブ、青少年育成会、地域住民で、ホタルの観賞会を実施し、60名余りの参加が得られました。

景観形成については、他の集落



でのシバザクラの取組を聞くたびに当組織でも実施できないかと検討していたのですが、農村まるごと保全技術研修会に参加し、ついに今年1月に植栽実現に向けた各種団体における全体会議を行い、実施への一步を踏み出しました。

3月には、農道法面180mにわたり植栽を行いました。植栽場所の地ならし、防草シートの貼り付け、植栽場所の位置決め、シートの裁断などの準備や当日の植え付け等、区民が一丸となり作業をしました。5年後くらいには、きっと綺麗に花が咲くことでしょう。この様に地域の環境をその地域に生活する人々が自ら作りあげて行くことがいかに大切であるか、この活動を通じて感じることができます。



豊郷町は豊かな自然を守ります！



豊郷町
産業振興課

豊郷町は、滋賀県の東部にあって面積が7.82km²、東西5.7km、南北4.9kmという小さな町です。湖東平野の中央に位置する平坦な地域で、田畠が約6割、宅地が約2割を占めています。

現在、6組織が270haで共同活動・営農活動を展開しています。

共同活動の取り組み

当町のほとんどが兼業農家であり、農業従事者の高齢化が深刻な問題となっていますが、役員を中心に活動計画に基づき施設の老朽化状況を把握することで農業施設の維持管理に努めています。



生態系、景観形成・生活環境保全の取り組みでは、地域の子どもたちが参加し、魚の放流や生きもの調査など生育環境を提供することにより環境学習に役立っています。



また、地域住民が一体となってコスモス、ヒメイワダレソウ等の植栽を実践され、世代を超えた交流が盛んとなり、明るい地域づくり活動が図られ、環境保全・向上の意識が高まっています。



【掲載写真の一部は豊郷町観光協会提供】

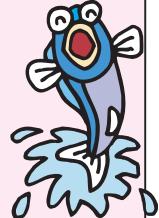
お知らせ

★「魚のゆりかご水田プロジェクト」拡大キャラバンを実施中！

これまで展開してきた、琵琶湖周辺域での「魚のゆりかご水田プロジェクト」を、今年度は中・上流域まで拡大し「豊かな生きものをはぐくむ水田づくり」として展開します。

県内の中・上流域において、生きものの調査の実施により生息状況等を把握し、対象地域を精査します。その成果をもとに、地域住民の皆さんとの現地確認や各農村集落組織へアプローチするためのキャラバン隊を設置し、ワークショップを通して、湖辺域から中上流域へ実施地域の拡大に取り組みます。

関心をお持ちの活動組織がありましたら、水土里ネット滋賀（表紙参照）までご連絡ください。



環境こだわり農産物は、水稻をはじめ豊郷町の特産物である手のひらサイズの「坊ちゃんかぼちゃ」が作られています。一部の農産物は近くの直売所などで販売され、消費者のニーズに沿った農産物を、また、生産者の顔が見え安心できる農産物を提供するため更なるブランド化を目指しています。

住民の暮らしを包む田園など良好な自然環境は、未来の子どもたちからあずかった大切な宝です。この大切な宝を守り、より良い環境を創造するとともに自然豊かな地域を守り、未来へ引き継ぐ生活環境の保全を推進します。



2010子ども絵画コンクール入選作品
『田植えの様子』
田中 美帆さん（御園小学校）



2010子ども絵画コンクール入選作品
『自然にやさしい田んぼ』
秋山 和希さん（多賀小学校）